ALINCO

作業連絡用無線システム
特定小電力ハンディトランシーバー
（総務省技術基準適合品）

DJ-M10
取扱説明書

本書はモバイル機器から操作方法を調べやすくするため、製品安全に関するページを削除して、代わりに巻末に上級セットモード説明を加えています。
必ず製品同梱、又は弊社ＨＰの取扱説明書ダウンロードに掲載の製品版説明書で、安全上の注意もお読みください。

RoHS

アルインコのトランシーバーをお買い上げいただきましてありがとうございます。本製品の機能を充分に発揮させ、効果的にご使用いただくため、この取扱説明書をご使用前に最後までお読みください。アフターサービスなどについても記載していますのでこの取扱説明書は大切に保管してください。また、補足シートや正誤表が入っている場合は、取扱説明書と合わせて保管してください。ご使用中の不明な点や不具合が生じたとき、お役に立ちます。本製品は免許・資格不要の特定小電力無線電話として、各種通信にお使いいただけます。

本製品は別売の親局（DJ-M1R ／ M2R）と組み合わせて使用する複数同時通話子機です。同時通話にはオプションのイヤホン、イヤホンマイク、ヘッドセットなどが必要です。

アルインコ株式会社

目次

1 お使いになる前に

本機をお使いになる前にお読みください。

・・・・・・・・ 付属品と取り付け方 ・・・・・・・・

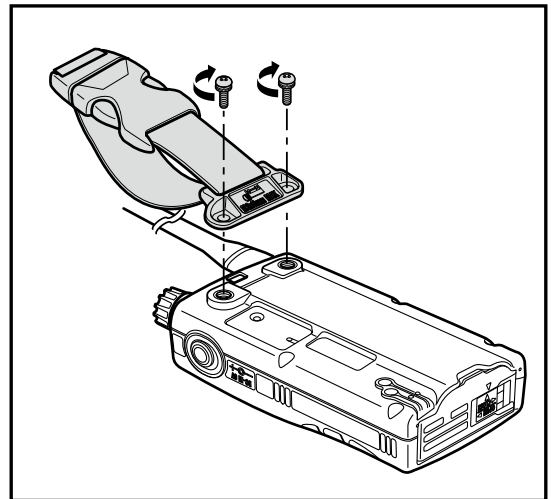
付属品をご確認ください。

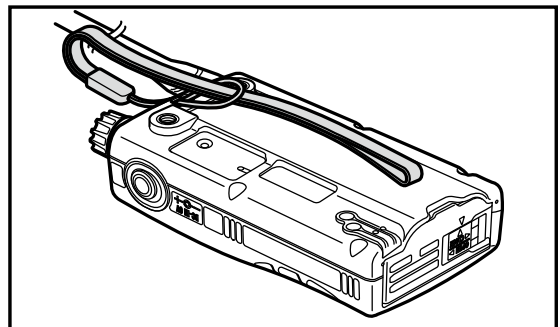
□ ベルトクリップ（ネジ２本）
□ ハンドストラップ
□ 取扱説明書（本書）
□ 保証書

注意 保証書にご購入日の日付が記載されていないときは、領収書やレシートを保証書といっしょに保管してください。ご購入日を証明できる書類がないと保証サービスは無効になりますのでご注意ください。

■ ベルトクリップの取り付け

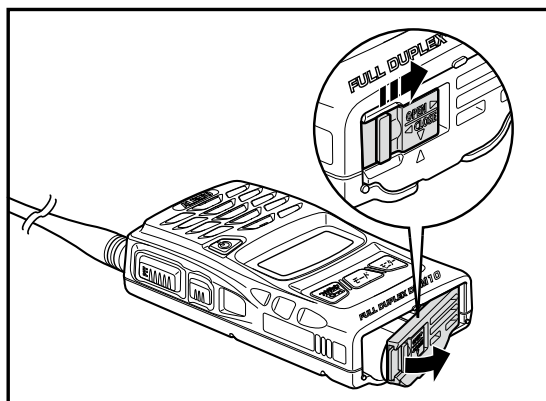
ベルトクリップを付属のネジ２本で本機の背面に取り付けます。

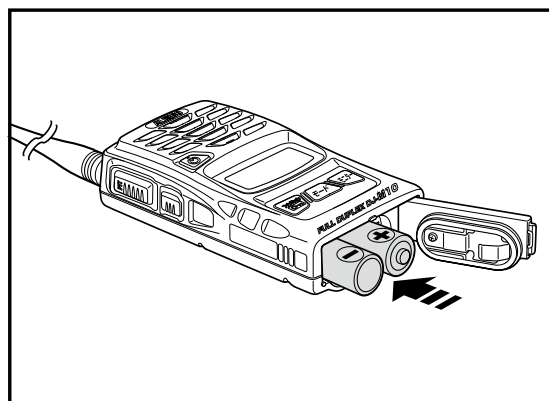
注意 ベルトクリップでトランシーバーを体の横や背中に取り付けてください。イヤホンマイクなどをご使用のときは余ったケーブルを束ねてください。かがんだときにプラグやアンテナに過度な力が加わらないようご注意ください。定期的にネジにゆるみがないか点検してください。ベルトクリップは消耗品です。スペアー部品（EBC-50）として販売していますので、お買い求めの際は販売店にご相談ください。

■ ハンドストラップの取り付け

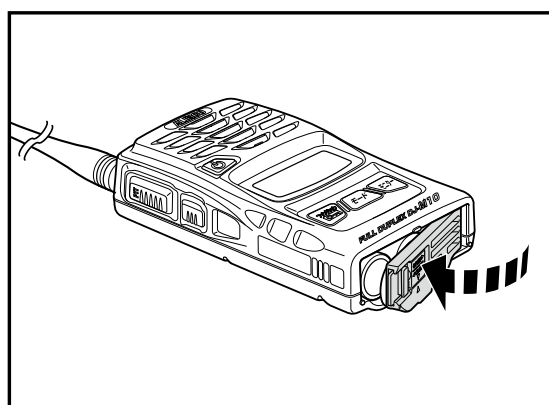
本機背面上部にあるストラップ用の通し穴に取り付けます。

・・・・・・・・ 電池の入れ方 ・・・・・・・・

単三形乾電池 2 本またはオプションのバッテリーパック（EBP-60）を装着します。

1 カバーを開ける

ロックレバーを OPEN ▷側へスライドさせながらカバーを開けます。

2 電池を入れる

単三乾電池 2 本を､ケース内側の「＋／－」の表示にしたがって装着してください。
バッテリーパックをお使いの際は、バッテリーパックの突起位置を確認して端子が奥になるように装着してください。

3 カバーを閉める

カバーを本体上方向へ押さえて閉めてください。

注意

- ＋／－の向きを間違わないようにご注意ください。
- 電池は同じ種類の新しいものをご使用ください。
  大容量アルカリ電池の使用をお勧めします。
- 市販の充電池は形状や電気仕様が異なるためご使用になれません。
- 本機を長期間使用しないときは電池を取り外してください。

・・・・・・・・ 充電方法 ・・・・・・・・

● バッテリーパックと充電器について

バッテリーパック、充電器および関連するオプション製品は下記のとおりです。

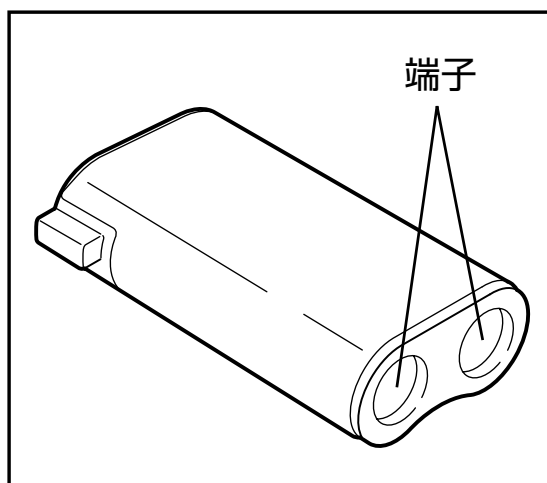
リチウムイオンバッテリーパック	：EBP-60（3.7V-1200mAh）
シングル充電スタンド	：EDC-131
シングル充電器セット	：EDC-131A（AC アダプター付属）
AC アダプター	：EDC-122
ツイン充電器セット	：EDC-167A（AC アダプター付属）
ツイン連結スタンド	：EDC-167R
連結用 AC アダプター	：EDC-162 （EDC-167A/R 連結時必要）

注意

・オプションの バッテリーパックは出荷時には十分には充電されていません。お買い上げ後に充電してからご使用ください。
・充電は 0℃～ 40℃の温度範囲内でおこなってください。
・バッテリーパックの改造、分解、火中・水中への投入は絶対にしないでください。発熱、破裂などの恐れがあり大変危険です。
・バッテリーパックの端子は絶対にショートさせないでください。機器の損傷や発熱による火災、火傷の原因になることがあります。
・継続的な充電や放電状態での放置はバッテリーパックの劣化を早める原因になることあります。
・バッテリーパックの保存は、-5℃～ 35℃の範囲で湿度が低く乾燥した場所を選んでください。それ以外の温度や湿度が高い場所では、液漏れや金属部分のサビの原因になりますので避けてください。
・バッテリーパックは消耗品です。所定の時間充電しても使用時間が著しく短い場合は寿命を迎えています。新しいものにお取替えください。

■ バッテリーパックの取り扱いについて

バッテリーパックを持ち運ぶときは端子をショートさせないようご注意ください。
大電流が流れて火災、火傷の原因になることがあります。

端子

■ バッテリーパックの保管について

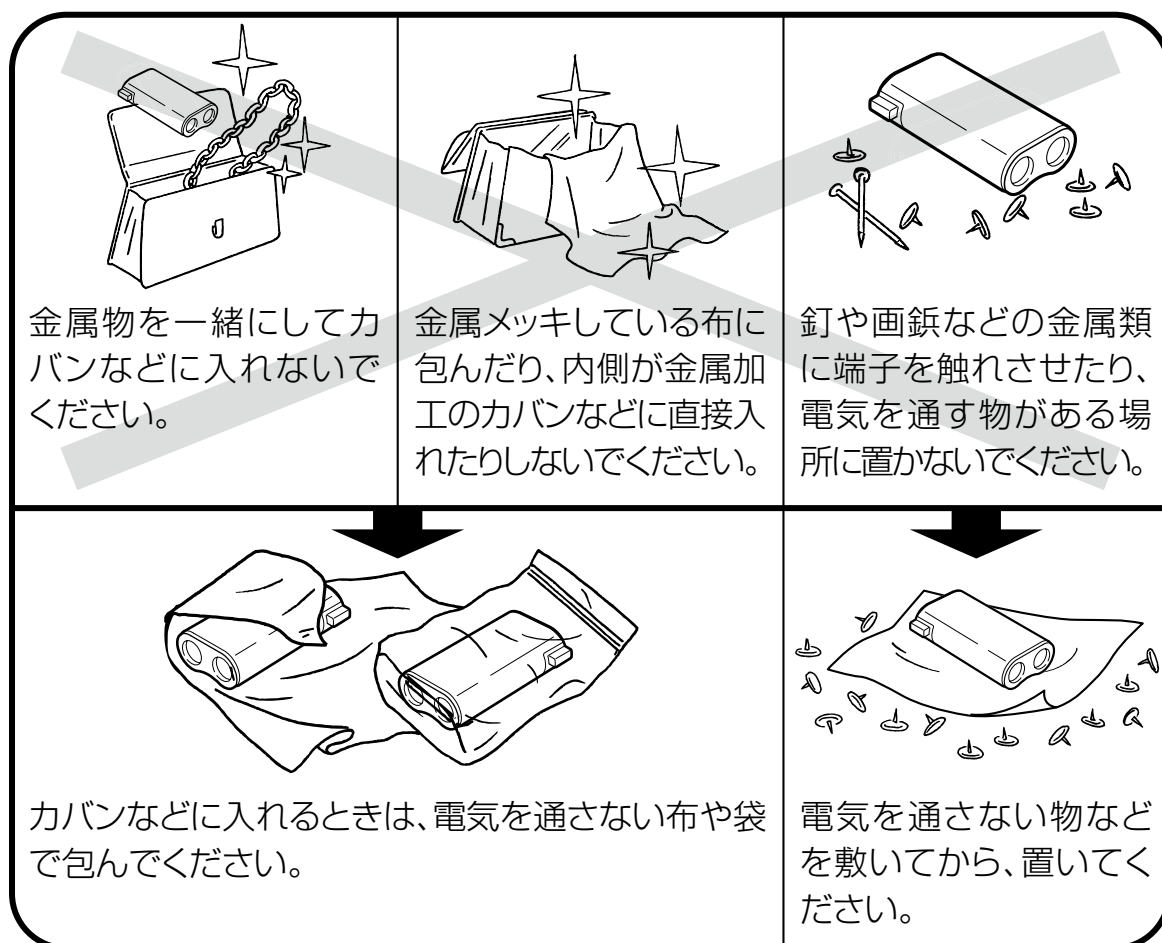
バッテリーパックを保管するときは、以下のことにご注意ください。

金属物を一緒にしてカバンなどに入れないでください。

金属メッキしている布に包んだり、内側が金属加工のカバンなどに直接入れたりしないでください。

釘や画鋲などの金属類に端子を触れさせたり、電気を通す物がある場所に置かないでください。

カバンなどに入れるときは、電気を通さない布や袋で包んでください。

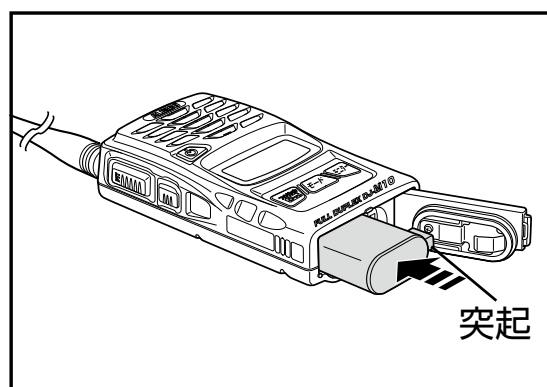
電気を通さない物などを敷いてから、置いてください。

■ バッテリーパックの充電方法

● AC アダプターによる充電方法

本機にはリチウムイオンバッテリーパック（EBP-60）用の充電回路が内蔵されています。

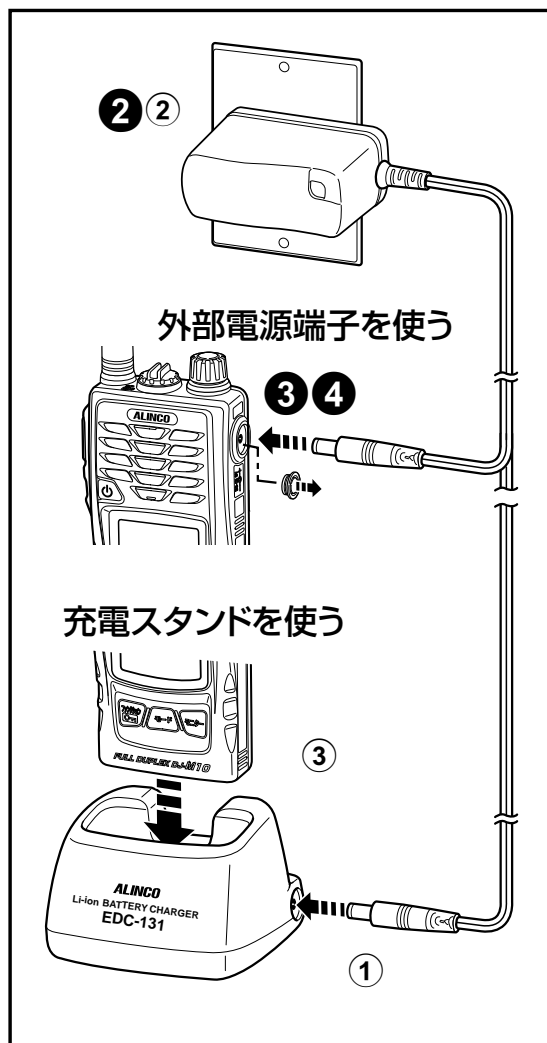
❶ 本機にバッテリーパックを装着します

バッテリーパックの突起位置を確認して、端子が奥になるように装着してください。

突起

❷ AC アダプターを家庭用コンセント AC100V へ接続します

❸ トランシーバーの電源を切ります。

❹ 外部電源端子の防水キャップを取り外し AC アダプターのプラグを接続します。
充電が開始されトランシーバーのディスプレイに「CHArGE」が表示されます。
充電が完了するとディスプレイに「FULL」が表示されます。

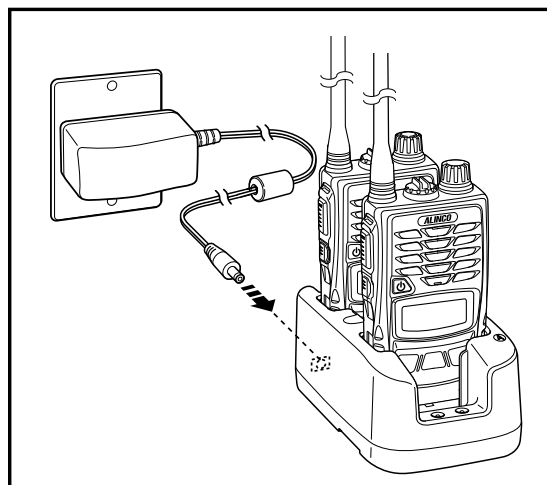
注意 トランシーバーの電源を入れたままでも充電できますが、充電中または充電完了をお知らせする表示がされません。
外部電源端子の防水キャップを取り外した場合は紛失しないようご注意ください。
外部電源を接続しているときは耐塵防浸にはなりません。

● シングル充電器セット（EDC-131A）の使用方法

① AC アダプターのプラグを充電スタンドの電源端子へ接続します。
② AC アダプターを家庭用コンセント AC100V へ接続します。
③ トランシーバーの電源を切って充電スタンドのポケットへ挿入します。
充電が開始されトランシーバーのディスプレイに「CHArGE」が表示されます。充電が完了するとディスプレイに「FULL」が表示されます。

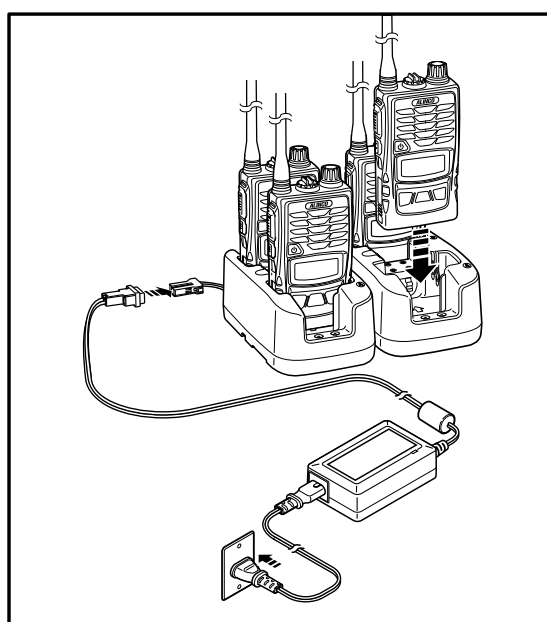
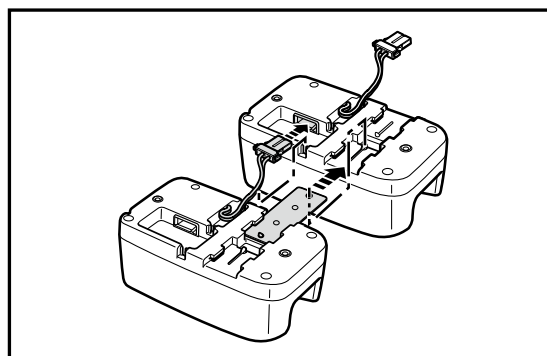
注意 充電器セット（EDC-131A など）に付属している AC アダプターは充電専用です。送受信音声にノイズが混入するため通話にはご使用になれません。

● ツイン充電器セット（EDC-167A）の使用方法

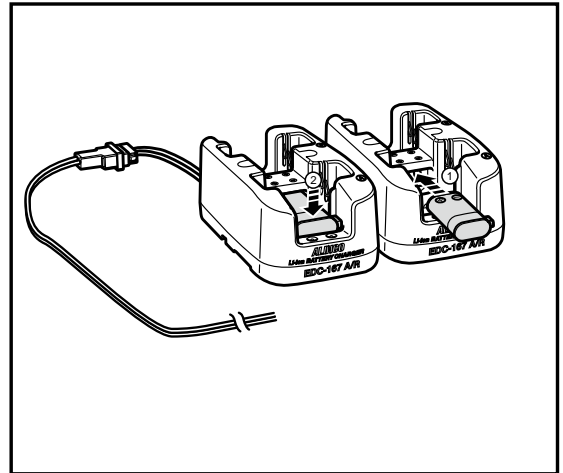
2 台のトランシーバーを同時に充電できます。

① AC アダプターのプラグを充電スタンドの電源端子へ接続します。
② AC アダプターを家庭用コンセント AC100V へ接続します。
③ トランシーバーの電源を切って充電スタンドのポケットへ挿入します。
充電が開始され充電スタンドの赤ランプが点灯するとともに、トランシーバーのディスプレイに「CHArGE」が表示されます。
充電が完了すると赤ランプが消灯し、トランシーバーのディスプレイに「FULL」が表示されます。

● ツイン連結スタンド（EDC-167R）の使用方法

充電スタンドを 4 台まで連結し、最大で 8 台のトランシーバーを同時に充電できます。

① 充電スタンドどうしを連結します。
充電スタンド裏面を連結プレートで接続します。
② 充電スタンド裏面のコネクタを接続します。
③ 一端の充電スタンドと連結用 AC アダプター（EDC-162）のコネクタを接続します。
④ AC アダプターを家庭用コンセント AC100V へ接続します。
⑤ トランシーバーの電源を切って充電スタンドのポケットへ挿入します。
充電が開始され充電スタンドの赤ランプが点灯するとともに、トランシーバーのディスプレイに「CHArGE」が表示されます。
充電が完了すると赤ランプが消灯し、トランシーバーのディスプレイに「FULL」が表示されます。

● バッテリーパック単品の充電方法

ツイン充電器（EDC-167A/R）を使用してリチウムイオンバッテリーパック（EBP-60）単品を充電できます。

① バッテリーパックの端子側を充電スタンドの矢印方向へスライドさせて装着します。
充電が開始されると充電スタンドの赤ランプが点灯し、完了すると消灯します。

メモ
- 空のリチウムイオンバッテリーパックを満充電するのに要する時間は約３時間です。
- 充電するときはトランシーバーの電源を切ってください。
- トランシーバーと充電器の充電端子はときどき乾いた布で掃除してください。汚れていると接触不良の原因になります。

注意
トランシーバーやバッテリーパックをツイン充電器の前方のポケットに挿入すると赤色ランプが点灯するが後方のポケットに挿入すると点灯しない、あるいはその逆の動作をすることがあります。
充電開始、完了を決定する回路の個体差によりこのような動作をすることがありますが異常ではありません。
充電器の赤色ランプが点滅したときは AC アダプターのプラグを接続し直してください。
点滅が続く場合はバッテリーパックが寿命を迎えているため新しいものにお取り替えください。

■ AC アダプターでの運用について

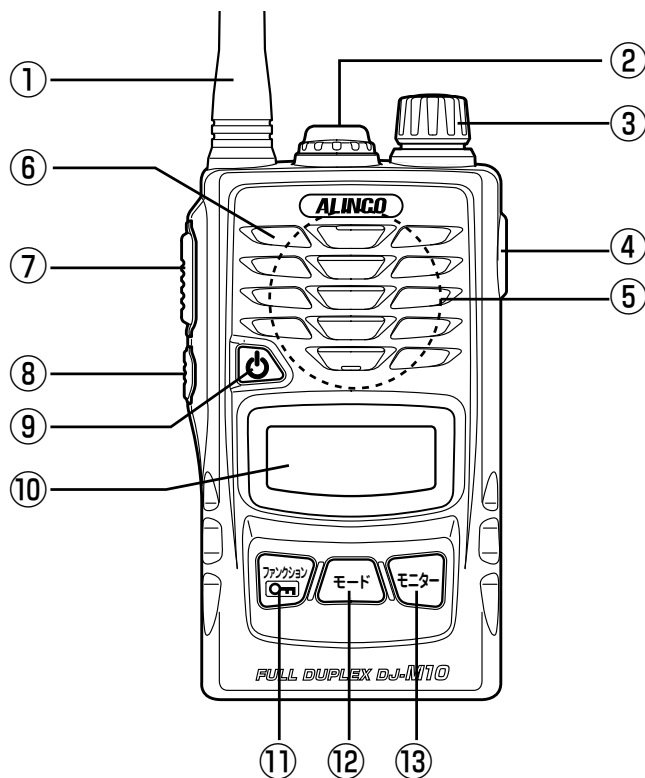
外部電源として AC アダプター EDC-122 を常用する場合は、過充電による劣化を防ぐためバッテリーパックは取り外しておくことをお勧めします。

AC アダプター EDC-122 で運用中に AC 電源（AC100V）が停電しその後復旧したときは、本機は自動的に停電前の状態に復帰します。

AC アダプターを使用しているとき送受信音声にノイズが混入する場合は、AC アダプターとトランシーバーを離したりコードの引き回しを変えてください。ノイズが低減することがあります。

・・・・・・・・ 各部の名前とはたらき ・・・・・・・・

本機の各部の名前とそのはたらきを説明します。

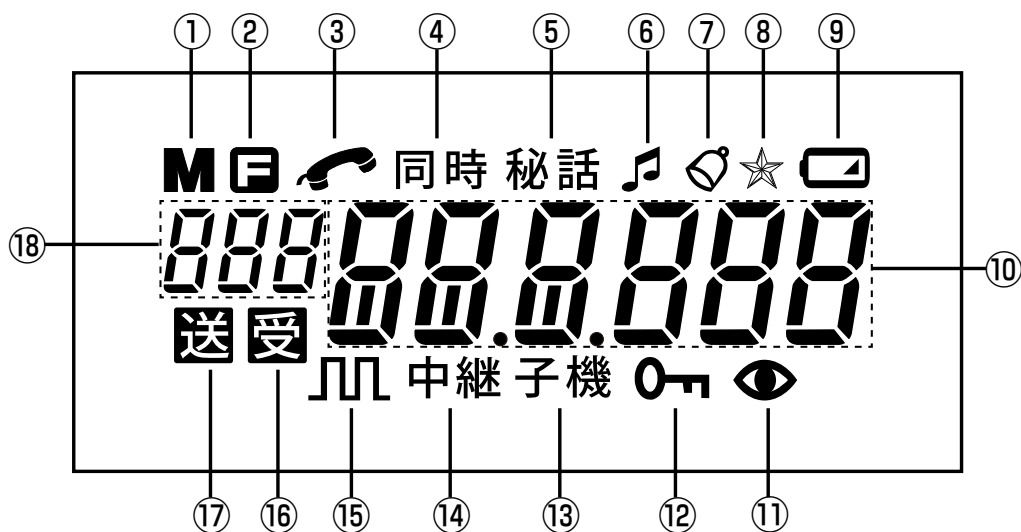
①
②
③
④
⑤
⑥
⑦
⑧
⑨
⑩
ALINCO
ファンクション
モード
モニター
FULL DUPLEX DJ-M10
⑪ ⑫ ⑬

	説　明	はたらき
①	アンテナ	アンテナは外れないようになっています。
②	イヤホン／マイク端子	オプションのイヤホンマイクなどを接続します。接続するときはプラグを奥までしっかりとねじ込んでください。 使用しないときは防水のためキャップをねじ込んでください。
③	ダイヤル	チャンネル、音量、チャンネルグループ、個別番号の選択やセットモードの設定に使用します。ダイヤルを押すか回して音量の選択、F 点灯状態でダイヤルを押すとセットモードの設定ができます。
④	DC-IN	外部電源接続端子です。オプションのACアダプターやシガーライターケーブルを接続します。オプションのバッテリーパックを装着して充電することができます。
⑤	スピーカー	受信音が鳴ります。
⑥	マイク	送信するときに話します。マイクと口もとは約 5 センチ離してください。
⑦	[PTT] キー	送信するときは押しながらマイクに向かって話します。

	説　明	はたらき
⑧	[フック（A/B、サーチ）] キー	チャンネルグループ、個別番号変更時に使用します。
⑨	[電源 ⏻] キー	約 2 秒間押して電源を ON/OFF します。
⑩	ディスプレイ	チャンネルや音量、各種設定内容を表示します。
⑪	[ファンクション／ 🔑（ロック）] キー	各種設定の開始に使用します。[フック] キーと同時に押しながらダイヤルを回すとチャンネルグループが変更できます。
⑫	[モード] キー	ダイヤルと同時に約 3 秒間押すと通話モードが切り替わります。
⑬	[モニター] キー	受信信号が弱く音声が途切れるときに使用します。[フック] キーと同時に押しながらダイヤルを回すと 4 者同時通話モードの個別番号、2 者同時通話モードのチャンネル番号が変更できます。

・・・・・・・ キー操作の表記について ・・・・・・・

本書の説明で「押します」とはキーやダイヤルを押したあとすぐに指を離すことを指します。

「約 2 秒間押す」「長く押す」「長押しする」とは機能が動作するまで押し続けることを指します。

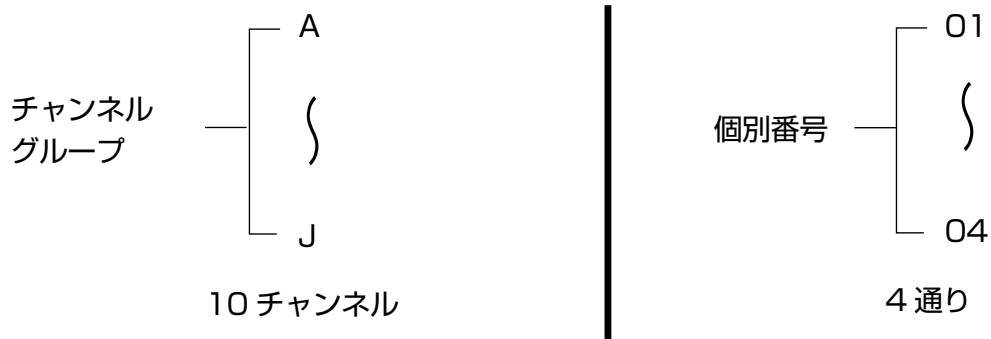
・・・・・・・・・・・ ディスプレイ ・・・・・・・・・・・

説　明	
①	使用しません
②	［ファンクション］キーを押すと点灯します。
③	使用しません
④	使用しません
⑤	秘話機能設定時に点灯します。
⑥	コンパンダー機能設定時に点灯します。
⑦	ベル機能設定時に点灯します。
⑧	二者同時通話モードで状態により点灯します。
⑨	電池電圧が低下すると点灯、点滅します。
⑩	チャンネル設定、セットモード項目を表示します。
⑪	使用しません
⑫	キーロック中に点灯します。
⑬	子機として使用する各モード時に点灯します。
⑭	使用しません
⑮	使用しません
⑯	受信中に点灯します。
⑰	送信中に点灯します。
⑱	セットモードの設定を表示します。

注意　単三形乾電池を使用しての同時通話中にディスプレイ表示が薄くなることがありますが内部回路の動作仕様であるため異常ではありません。

■ チャンネル表示について

● ４者同時通話モード

チャンネルグループ ― A 〜 J　10チャンネル

個別番号 ― 01 〜 04　４通り

本機とDJ-M1R/M2R（親局）に設定されているチャンネルグループ表示の対比一覧表です。最大４台の子機（例:A-01 〜 A-04）で同時通話できます。

子機（本機）	親局（DJ-M1R/M2R）	子機（本機）	親局（DJ-M1R/M2R）
A-01	A	F-01	F
A-02		F-02	
A-03		F-03	
A-04		F-04	
b-01	B	G-01	G
b-02		G-02	
b-03		G-03	
b-04		G-04	
C-01	C	H-01	H
C-02		H-02	
C-03		H-03	
C-04		H-04	
d-01	D	I-01	I
d-02		I-02	
d-03		I-03	
d-04		I-04	
E-01	E	J-01	J
E-02		J-02	
E-03		J-03	
E-04		J-04	

注意　子機の個別番号は、重複しないように選択してください。

● 2者同時通話モード

ch01 ～ ch24 の 24 チャンネルを搭載しています。

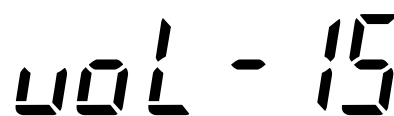
親局を使用せず、本機どうしで同時通話できます。

基本操作

本機の基本となる操作を説明します。

■ 電源を入れる

［電源⏻］キーを約 2 秒間押します。
電源を切るときも同じ操作をします。

約2秒間押し続けます

■ チャンネルを設定する

通話モードの切り替え（P.21）に従って通話モード及びチャンネルの設定を行います。

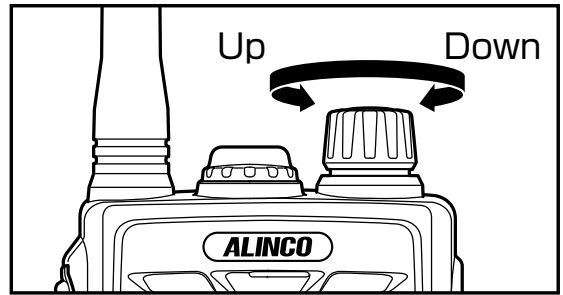
■ 音量を調整する

❶ ダイヤルを押す

ディスプレイに初期状態の音量レベル「voL-15」が表示されます。

voL - 15

❷ 音量レベルを調整する

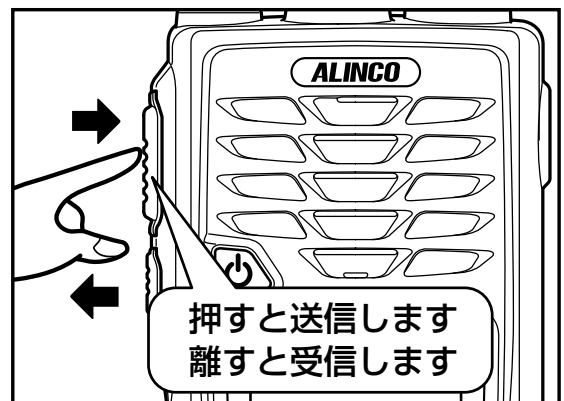
音量レベルの表示中にダイヤルを回すと音量が増減できます。
音量調整は 0 ～ 30 までの 31 段階です。
[モニター] キーを押すと「ザー」というノイズが聞こえ音量調整の目安になります。

❸ 音量レベルを選択する

適切な音量レベルを選択し [PTT] キーを押して設定を完了します。
→受信待ち受けに戻ります。
各キーの無操作状態が約 5 秒続いたときは自動的に設定を完了します。

■ 受信する

信号を受信するとディスプレイの 受 が点灯しスピーカーから相手の声が聞こえます。
適切な音量レベルに調整してください。

■ 送信する

[PTT] キーを押しながらマイクに向かって話します。

■ 設定を完了する

各種設定を完了するときは [PTT] キーを押してください。

2 通話モードの切り替え

DJ-M10 で使用できる通話モードの概要と操作方法を紹介します。

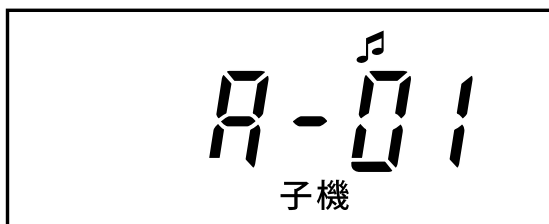
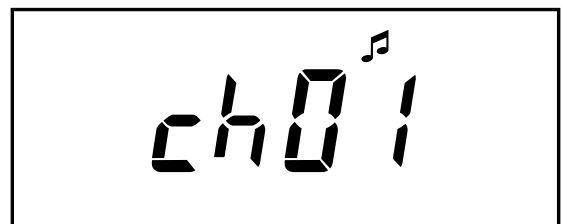
・・・・・・・・ 通話モードの切り替え ・・・・・・・・

工場出荷状態ではもっとも基本的な４者同時通話モードに設定されています。通話モードの切り替え方法について説明します。

● 通話モードを切り替える

[モード] キーと [ダイヤル] を同時に約３秒間押します。

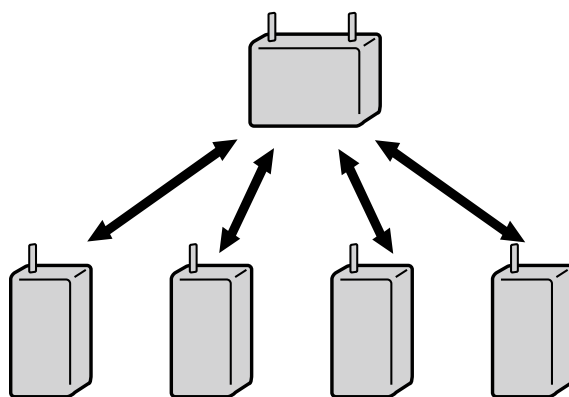
この操作で４者同時通話モードと２者同時通話モードに交互に切り替わります。

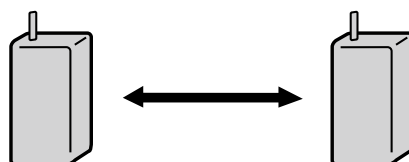
４者同時通話モード

２者同時通話モード

・・・・・・・・・ 通話モード ・・・・・・・・・

DJ-M10 に搭載されている通話モードの概要を紹介します
搭載している２種類の通話モードについて説明します。

注意 両通話モード共に同時通話のため、必ずオプションの外部イヤホンか外部イヤホンマイクをご使用ください。
オプションのスピーカーマイクはハウリングが起こるためご使用になれません。

● ４者同時通話モード

親局（DJ-M1R/M2R）を使用して、本機４台で同時通話するモードです。

● ２者同時通話モード

親局（DJ-M1R/M2R）を使用せず、本機２台で同時通話するモードです。

・・・・・・・・ 各モードの操作方法 ・・・・・・・・

モードごとに操作方法を説明します。
搭載している２種類の通話モードについて説明します。

４者同時通話モード

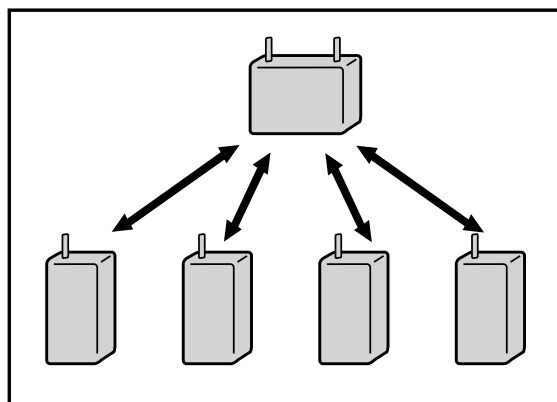
親局（DJ-M1R/M2R）を使用して４人で同時通話をおこなうモードです。
工場出荷状態で電源を入れると、このモードになります。

注意　４者同時通話モードでは必ずオプションの外部マイク（ヘッドセットやイヤホンマイク）をご使用ください。スピーカーマイクはハウリングが起こるためご使用になれません。

❶ 外部マイクを接続する

本機にオプションのヘッドセットやイヤホンマイクを接続します。

❷ 電源を入れる

[電源 ⏻] キーを約 2 秒間押します。

❸ チャンネルグループを設定する

[フック] キーと [ファンクション] キーを同時に押しながらダイヤルを回してチャンネルグループを設定します。A ～ J の中から選択します。

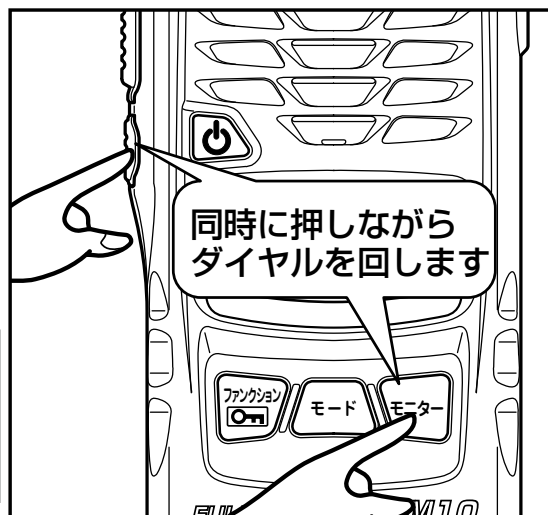
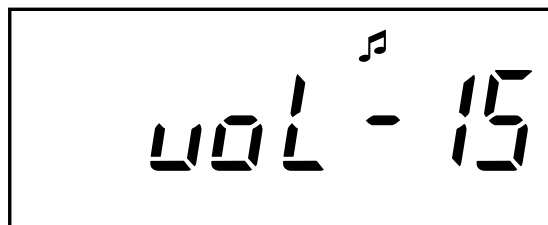
注意　本機と親局（DJ-M1R/M2R）のチャンネルグループ（A ～ J ）を合わせてください。

同時に押しながら
ダイヤルを回します

ファンクション
モード
モニター

❹ 個別番号を設定する

[フック] キーと [モニター] キーを同時に押しながらダイヤルを回して個別番号を設定します。１～４の中から選択します。

注意　４者同時通話モードでは、４者で個別番号が重複しないように設定してください。重複すると正常な通話ができません。

同時に押しながら
ダイヤルを回します

❺ 音量を調整する

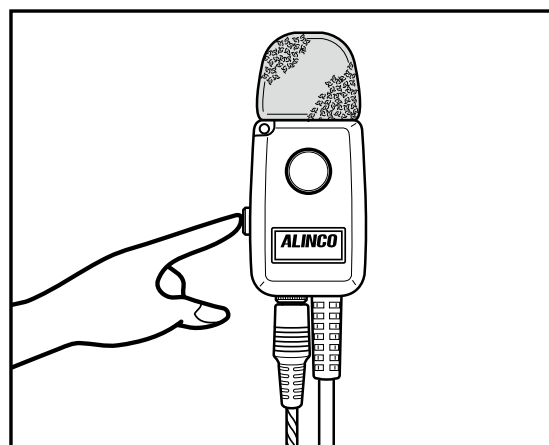
ダイヤルを押し、音量レベルが表示中にダイヤルを回します。適切な音量に調整してください。

vol - 15

❻ 送信する

本機に接続した外部マイクの［PTT］キーを押します。
送 が点灯します。外部マイクに向かって話します。

メモ　初期状態では PTT ホールド機能は有効になり、[PTT] キーを押すたびに送信、受信待ち受けになります。
ご使用になるオプションマイクによって形状や［PTT］キーの位置は異なります。

❼ 応答する

呼び出しに応答するときは本機に接続した外部マイクの［PTT］キーを押して応答すると同時通話状態となり 送 受 が点灯します。
外部マイクに向かって話します。

❽ 通話を終了する

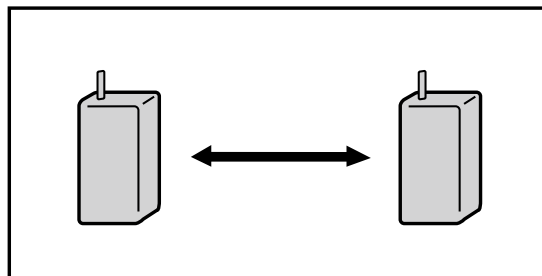
通話を終了するには外部マイクの［PTT］キーを押します。

2者同時通話モード

親局（DJ-M1R/M2R）を使用せず２人で同時通話をおこなうモードです。

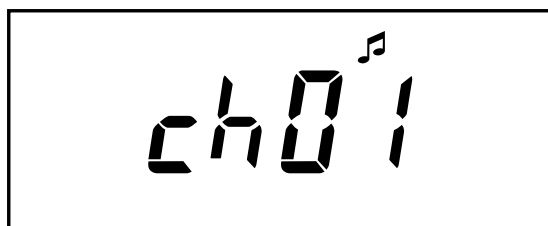
注意 ２者同時通話モードでは必ずオプションの外部マイク（ヘッドセットやイヤホンマイク）をご使用ください。スピーカーマイクはハウリングが起こるためご使用になれません。

❶ 外部マイクを接続する

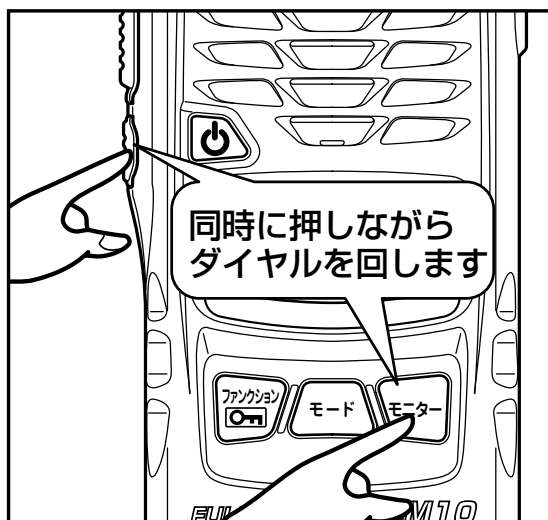
本機にオプションのヘッドセットやイヤホンマイクを接続します。

❷ 電源を入れる

[電源 ⏻] キーを約 2 秒間押します。

❸ 2 者同時通話モードに切り替える

[モード] キーと [ダイヤル] を同時に約３秒間押します。

ch01

❹ チャンネルを設定する

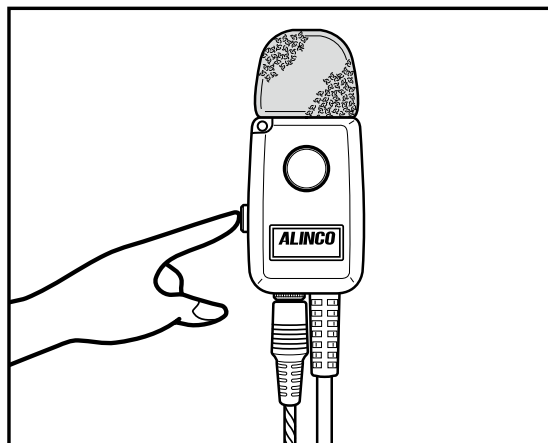
[フック] キーと [モニター] キーを同時に押しながらダイヤルを回してチャンネルを設定します。
ｃｈ０１〜ｃｈ２４の中から選択します。

❺ 音量を調整する

ダイヤルを押し、音量レベルが表示中にダイヤルを回します。適切な音量に調整してください。

❻ 送信する

本機に接続した外部マイクの［PTT］キーを押します。
送 が点灯します。外部マイクに向かって話します。

メモ　初期状態では PTT ホールド機能は有効になり、[PTT] キーを押すたびに送信、受信待ち受けになります。
ご使用になるオプションマイクによって形状や［PTT］キーの位置は異なります。

❼ 応答する

呼び出しに応答するときは本機に接続した外部マイクの［PTT］キーを押して応答すると同時通話状態となり 送 受 が点灯します。
外部マイクに向かって話します。

❽ 通話を終了する

通話を終了するには外部マイクの［PTT］キーを押します。

3 便利な機能

本機を使用する際に便利な機能を紹介します。

・・・・・・・・ キーロック ・・・・・・・・

キーロックしておくと誤操作を防止できます。

■ 簡易キーロック（LoC-1）

🔑 キーを約 2 秒間押します。
→ 「LoC-1」が点滅したあと「🔑」が点灯します。
解除するには同じ操作をします。

■ 通常キーロック（LoC-2）

🔑 キーと [モード] キーを同時に約 2 秒間押します。
→ 「LoC-2」が点滅したあと「🔑」が点灯します。
解除するには同じ操作をします。

メモ キーロックしていても送信、音量調整、モニター操作はおこなえます。

・・・・・・・・・ 減電池お知らせ ・・・・・・・・・

電池の電圧が低下すると「▭」が点灯します。さらに低下すると「▭」が点滅します。
乾電池をご使用の場合は新しいものに交換してください。オプションのバッテリーパックをご使用の場合は充電してください。

本機の電源を切った状態で充電すると「CHArGE」を表示し「▭」が点滅します。満充電になると「FULL」を表示し「▭」が消灯します。
本機の電源を入れた状態で充電したときはチャンネルなどを表示しますが「▭」は点灯、点滅しません。バッテリーパックの電圧を検知して自動的に充電を開始しその後完了します。

・・・・・・ イヤホン断線検知 ・・・・・・

オプションのイヤホンマイクなどを接続して電源を入れた時に、イヤホンが断線していないか自動で検知をおこないます。
もし断線していれば異常であることをディスプレイ表示「EAr-nG」とビープ音でお知らせします。

・・・・・・ テールノイズキャンセラー ・・・・・

受信終了時の「ザッ」というノイズを低減する機能です。
本機能を搭載した弊社機器間の通話においてのみ有効です。

・・・・・・・・ リセット ・・・・・・・・

設定を初期化するときはリセットします。リセットには 2 つの方法があります。

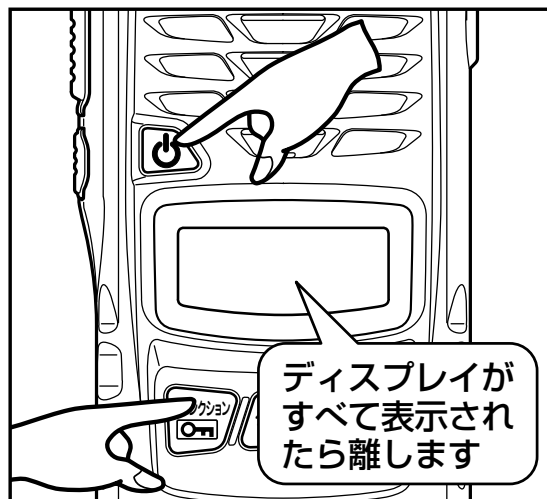
　簡易リセット：設定状態がわからなくなったときに初期化します。
　完全リセット：工場出荷状態に戻ります。

■ 簡易リセット

[ファンクション] キーを押しながら電源を入れます。

→ ディスプレイが全点灯中にキーを離します。

メモ　標準セットモードの設定内容は初期化されますが、上級セットモードの設定内容は保存されます。

ディスプレイがすべて表示されたら離します

■ 完全リセット

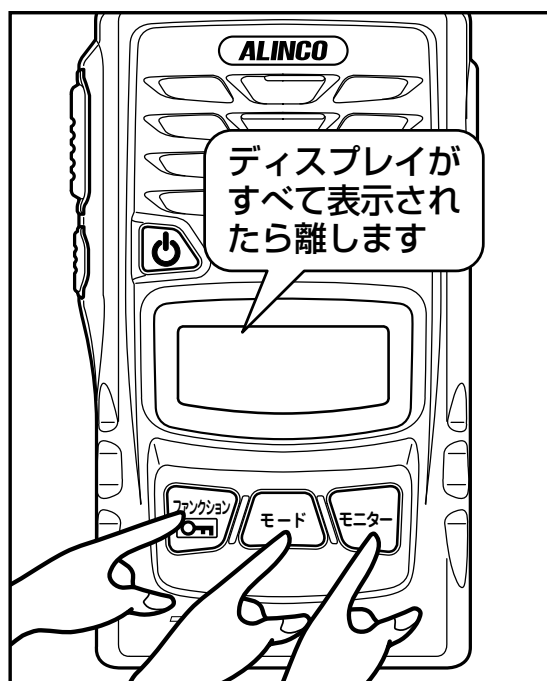
[ファンクション] キー、[モード] キーと [モニター] キーを同時に押しながら電源を入れます。

→ ディスプレイが全点灯中にキーを離します。

メモ　完全リセットでは標準セットモードおよび上級セットモードのすべての設定内容は初期化されます。

ALINCO

ディスプレイがすべて表示されたら離します

ファンクション　モード　モニター

4 セットモード

各種機能を用途に合わせてカスタマイズすることができます。
本書ではよく使用する標準セットモードについて説明します。
本書に記載していないその他の標準セットモードおよび上級セットモードについては~~弊社ホームページをご覧ください~~。本書の巻末をご覧ください。

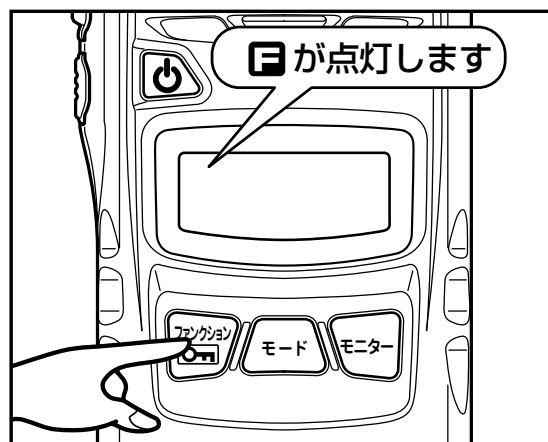
セットモード一覧

	カスタマイズ項目	初期値	参照ページ
1	スケルチレベル	3	P. 32
2	操作音量	3	P. 33
3	ランプ	5（秒）	P. 33
4	PTT ホールド	ON	P. 34
5	コンパンダー	ON	弊社ホームページ
6	秘話	OFF	弊社ホームページ
7	サウンド	ON	弊社ホームページ
8	ベル	OFF	弊社ホームページ
9	エンドピー	OFF	弊社ホームページ
10	バッテリーセーブ	ON1	弊社ホームページ
11	オートパワーオフ	OFF	弊社ホームページ
12	電池電圧参照	–	弊社ホームページ
13	モニターホールド	OFF	弊社ホームページ
14	PTT オフ	ON	弊社ホームページ
15	外部音量変更	L	弊社ホームページ
16	コールバック	OFF	弊社ホームページ
17	VOX	OFF	弊社ホームページ
18	マイクゲイン	4	弊社ホームページ
19	VOX ディレイ時間	10	弊社ホームページ
20	イヤホン断線検知	ON	弊社ホームページ
21	秘話周波数	34	弊社ホームページ
22	秘話エンファシス	OFF	弊社ホームページ
23	別売りアクセサリーの PTT 対応	ALL	弊社ホームページ
24	M1 ボリューム切り替え	OFF	弊社ホームページ
25	4 者同時通話フリー個別番号	OFF	弊社ホームページ

注意
~~5～25 の設定方法は本書に記載しておりません。弊社ホームページをご覧ください。~~
セットモードの設定内容は簡易リセットすると初期化されます。

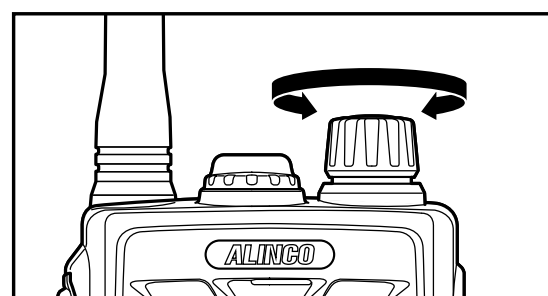
・・・・・・セットモードの設定方法・・・・・・

❶ セットモードにする

[ファンクション] キーを押します。
→ F が点灯します。

❷ ダイヤルを押す

F 点灯中にダイヤルを押します。
→ セットモードの項目が表示されます。
ダイヤルを押すごとに項目が切り替わります。[フック] キーを押すと前項目に戻ります。

❸ 設定値を変更する

ダイヤルを回して ON ／ OFF を設定したり値を選択します。

❹ 設定を完了する

[PTT] キーを押して設定を完了します。

・・・・・・ スケルチレベル設定 ・・・・・・

スケルチとは受信時に信号が無いときの「ザー」という雑音を消す機能です。
初期状態では「3」に設定されています。設定値が大きいほど、強い信号でスケルチが開くようになります。

❶ スケルチレベルの設定をする

セットモードにして「SqL 3」を選択します。

❷ ダイヤルを回しレベルを調整する

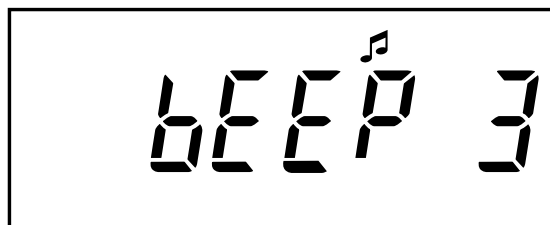
レベルは0～5の間で調整できます。

・・・・・・ 操作音量 ・・・・・・

本機から鳴るビープ音（操作音）の音量を調整する機能です。初期状態では「3」に設定されています。

❶ 操作音量の設定をする

セットモードにして「bEEP 3」を選択します。

bEEP 3

❷ 音量を切り替える

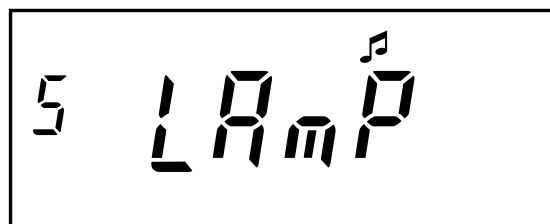
ダイヤルを回して操作音量を0～5から選択します。数値が大きいほど音量は大きくなり「0」に設定するとすべてのビープ音は鳴らなくなります。

・・・・・・ ランプ ・・・・・・

ディスプレイ照明を設定する機能です。初期状態では5秒に設定されておりキー操作をすると5秒間照明が点灯します。

❶ ランプの設定をする

セットモードにして「LAmP」を選択します。

5 LAmP

❷ 照明の点灯時間を設定する

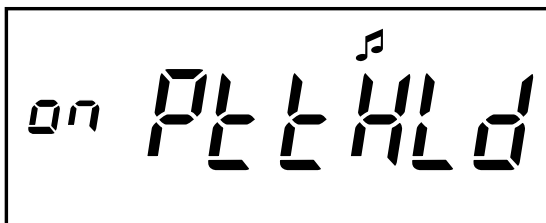
ダイヤルを回して照明の点灯時間を設定します。
OFF、5秒、ON（常時点灯）から選択します。

注意 ディスプレイ照明を常時点灯させると電池の消耗が早くなります。

・・・・・・PTT ホールド・・・・・・

[PTT] キーを一度押すと送信を継続する機能です。もう一度押すと受信待ち受けに戻ります。
本機能を使用すると [PTT] キーを押し続ける必要がなくなります。
初期状態では ON に設定されています。

❶ PTT ホールドの設定をする

セットモードにして「PttHLd」を選択します。

❷ ON/OFF を設定する

ダイヤルを回して ON、OFF を選択します。

5 付　録

本機の補足事項を記載しています。

オプション一覧

EBP-60	リチウムイオンバッテリーパック
EDC-122	AC アダプター
EDC-131	シングル充電スタンド
EDC-131A	シングル充電器セット（AC アダプター付属）
EDC-167A	ツイン充電器セット（AC アダプター付属）
EDC-167R	ツイン連結スタンド
EDC-162	連結用 AC アダプター
EME-58	ストレートコードイヤホン　耳かけ型
EME-32A	イヤホンマイク　カナル型
EME-48A	イヤホンマイク　耳かけ型
EME-62A	咽喉イヤホンマイク　カナル型
EME-63A	ヘルメット用ヘッドセット
EME-64A	ヘッドセット
EME-36A	イヤホンマイク　カナル型
EME-59A	イヤホンマイク　耳かけ型
EME-65A	イヤホンマイク　耳かけ型
EME-69A	イヤホンマイク　オープンエア型
EME-70A	イヤホンマイク　カナル型
EDH-33	シガーケーブル
EDS-14	プラグ変換ケーブル
ESC-62	ソフトケース
EBC-50	ベルトクリップ（ネジ 2 本）

・・・・・・ 故障とお考えになる前に ・・・・・・

本機が故障かなと思ったら、まずこちらをお読みください。

症　状	原　因	処　置
電源が入らない。	電池の入れ方が間違っている。	電池を正しく入れ直してください。
	電池が消耗している。	新しい電池と交換してください。 充電池を充電してください。
音が出ない。 受信できない。	音量が低すぎる。	適切な音量に設定してください。
	相手とチャンネルが違う。	同じチャンネルに合わせてください。
	相手と距離が離れ過ぎている。	通信距離を目安に通信してください。
	チャンネルグループが違う。	チャンネルグループを合わせてください。
「ザー」という 雑音が出る。	スケルチレベルが低すぎる。	適切なスケルチレベルに設定してください。
電池の消耗が早い。	バッテリーセーブ機能が OFF になっている。	セットモードでバッテリーセーブ機能を ON にしてください。
	ランプ常灯機能が ON になっている。	セットモードでランプ常灯機能を OFF にするか、5 秒に設定してください。
キー操作できない。 チャンネルが変わらない。	キーロックされている。	キーロックを解除してください。
充電しない。	充電端子が汚れている。	充電端子の汚れを拭き取ってください。
	バッテリーが専用品でない。	バッテリーパック EBP-60 をご使用ください。

- 処置を施しても異常が続くときはリセット（初期化）してください。症状が回復する場合があります。
- キー操作を受け付けなくなったときは電池を入れ直すと症状が回復する場合があります。
- 電池が消耗していると、まれに誤動作することがあります。新しい電池に交換してください。

生産終了品に対する保守年限

生産終了後も 5 年間は補修用部品を在庫しています。不測の事態で欠品した場合には保守ができなくなることがありますのでご了承ください。

定　格

送受信周波数	413.70000 ～ 414.14375MHz
	454.05000 ～ 454.19375MHz
電波形式	F3E（FM）、F2D（FSK）
送信出力	1mW
受信感度	-14dBu 以下（12dB SINAD）
音声出力	本体スピーカー 400mW 以上、外部出力 80mW 以上
通信方式	復信方式
定格電圧	DC3.0V ～ 3.7V
外部電源端子	DC5.0V ～ 6.0V　EIAJ 区分 2
消費電流	送信時：約 110mA
	受信定格出力時（50mW）：本体 約 160mA、外部 約 130mA
	受信待ち受け時：約 70mA
	バッテリーセーブ時：約 20mA
動作温度範囲	-10℃～ +50℃（但し充電は 0℃～ +40℃）
寸法	高さ 98.8mm x 幅 55.0mm x 厚さ 29.3mm（最薄部 24.0mm）突起物除く
	アンテナ長　163.5mm
重さ	120g（ベルトクリップ、電池含まず）

- 仕様、定格は予告なく変更する場合があります。
- 本書の説明用イラストは実物とは字体や形状が異なったり、一部の表示を省略している場合があります。
- 本書の内容を無断転載することは禁止されています。
- 乱丁、落丁はお取り替えいたします。

アルインコ株式会社 電子事業部

東 京 支 店 〒103-0027 東京都中央区日本橋2丁目3番4号 日本橋プラザビル14階 TEL.03-3278-5888
大 阪 支 店 〒541-0043 大阪市中央区高麗橋4丁目4番9号 淀屋橋ダイビル13階 TEL.06-7636-2361
福岡営業所 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2丁目13番34号 エコービル2階 TEL.092-473-8034

アフターサービスに関するお問い合わせは

お買い上げの販売店または、フリーダイアル 0120 0120-464-007

全国どこからでも無料で、サービス窓口につながります。
受付時間／ 10:00〜17:00 月曜〜金曜（祝祭日及び 12:00〜13:00 は除きます）
ホームページ http://www.alinco.co.jp/「電子事業」をご覧ください。

PS0903
FNEK-NI

DJ-M10　拡張版 取扱説明書

DJ-M10 作業連絡用無線システム子機（トランシーバー）は多彩な機能を搭載しています。
本書では製品に付属の取扱説明書には敢えて記載していない「拡張セットモード 1」、「拡張セット
モード 2」のメニュー内容と操作方法の詳細について説明します。

本機には、普段の使用には余り必要が無くても環境や特定のニーズによってはカスタマイズできると便利な項目を「拡張セットモード 1」に持たせています。さらに「拡張セットモード 1」の項目より使用頻度は低くても同様にカスタマイズできると便利な項目を「拡張セットモード 2」に持たせています。通常の設定項目にしなければならないほど頻繁に使われない上、意味が分かってお使いいただかないと電池を早く消費したり、表示が変わったり、一部の機能が使用できなくなるなど「故障かな？」と思うような動作をするため、拡張操作をしないと使えないようにしています。内容を良くご理解いただいたうえで操作していただきたいため、操作方法も敢えてこの説明書の最後に記載しました。増えた項目は、通常のセットモード項目の後ろに続けて表示されます。

ユーザーが誤って管理者設定を変更するリスクを減らすため、これら拡張メニューは設定変更後に再び表示を隠すことができ、完全リセットをしないと初期化されないようになっています。

１）拡張セットモード１

※押す回数、はセットモードに入って「SqL 3」表示からダイヤルを押し下げる回数です。

No.	メニュー	初期表示	選択項目	初期値	※押す回数
5	コンパンダー	on ComPnd	on/oFF	on	4
6	秘話	oFF ScrbLE	on/oFF	oFF	5
7	サウンド	on Sound	on/oFF	on	6
8	ベル	oFF bEEL	on/oFF	oFF	7
9	エンドピー	oFF EndP	on/oFF	oFF	8
10	バッテリーセーブ	on1 bS	oFF/on1/on2/Eco	on1	9
11	オートパワーオフ	oFF APo	oFF/30/60/90/120	oFF	10
12	電池電圧参照	○○ ○.○○	-	-	11
13	モニターホールド	oFF monHLd	on/oFF	oFF	12
14	PTT オフ	on Ptt	on/oFF	on	13
15	外部音量変更	EvoL-L	L/H	L	14
16	コールバック	oFF CALLb	on/oFF	oFF	15
17	VOX	oFF vo	oFF/Lo/Hi	oFF	16
18	マイクゲイン	4 m-GAin	1～7	4	17
19	VOX ディレイ時間	10 vod-t	1～30（×0.1sec）	10	18
20	イヤホン断線検知	on EAr-C	on/oFF	on	19
21	秘話周波数	34 Scr-Fq	27～34（×0.1KHz）	34	20
22	秘話エンファシス	oFF EmPHA	on/oFF	oFF	21
23	別売アクセサリーの PTT 対応	ALL inSptt	oFF/out/ALL	ALL	22
24	M1 ボリューム切り替え	oFF m1-voL	on/oFF	oFF	23
25	同時通話フリー個別番号	oFF FrEECH	on/oFF	oFF	24

【ご注意】ＤＪ－Ｍ１０には、同時通話以外の通話モードを含む兄弟機種と共通の機能が多くあります。これらの中には兄弟機種に必要でも、同時通話に特化した本機には使う意味がない機能があります。特にいくつかは変更するとデメリットにしかならないものがありますので、変更されるときは十分ご注意ください。

No.5　コンパンダー　on ComPnd

コンパンダー機能を ON に設定すると、通話中、音声が無いときに「サー」と聞こえるかすかなバックノイズを低減することができます。ON に設定するとディスプレイに「♫」が点灯します。

この設定はＯＮのままでお使いください。Ｍ１０でオフにするメリットはありません。

No.6　秘話　oFF ScrbLE

秘話機能を ON に設定すると、設定をしていないトランシーバーで受信したときには「モガモガ」のような声になって通話内容が聴き取れなくなります。ON に設定するとディスプレイに「秘話」が点灯します。

注）本機能のセキュリティレベルは非常に低いものです。機密を要する重要な通話に使えるレベルのものではありませんのでご了承ください。秘話設定にしても声が違和感なく聞こえないときは、セットモード No.21 秘話周波数またはセットモード No.22 秘話エンファシスが変更されている可能性があります。また、従来機種と組み合わせて使用される際は、通話内容が聞き取りづらくなることがあります。

No.7　サウンド　on Sound

本機のサウンド（キー操作音、各種アラーム音、ベル音）を設定する機能です。

No.8　ベル　oFF bEEL

ベル機能を ON に設定すると、呼び出されたことを表示とベル音でお知らせします。ON に設定するとディスプレイに「🔔」が点灯します。

メモ）一度ベルが鳴るとその後約 10 秒間は新たな着信を知らせるベルは鳴りません。

この機能も、同時通話モード時には余り意味がありません。

No.9　エンドピー　oFF EndP

「PTT」キーを離したときに「ピッ」と鳴り送信が終わったことを相手にお知らせする機能です。

誰かが同時通話から抜けたことを、全員に知らせることができます。

No.10　バッテリーセーブ　on1 bS

待ち受け状態が 5 秒以上続くと内部電源を定期的に ON/OFF させて電池の消費を抑える機能です。

バッテリーセーブ機能は OFF、ON1、ON2（ロング BS）、ECO（エコ BS）から選択します。ロング BS は低消費モード、エコ BS はさらに低消費モードです。 バッテリーセーブ機能を OFF に設定するとチャンネル表示部に「.（ドット）」が点灯します。

注）ロング BS とエコ BS では受信音声が出力される際に頭切れを起こすことがあります。

　　OFF にすると受信音声出力の反応はよくなりますが、電池の消耗が早くなります。

この機能も、常時電波が出ている同時通話モード時にはＢＳ自体が動作しないため、余り意味がありません。設定していても、効果は感じられません。

No.11　オートパワーオフ　oFF APo

電源の切り忘れを防ぐ機能です。無操作状態が設定時間続くとビープ音でお知らせし自動的に電源が切れます。オートパワーオフ機能はOFF、30 分、60 分、90 分、120 分から選択します。
本機の主用途から考えて必要のない機能ですから、オフにしておくことをお勧めします。

No.12　電池電圧参照　t3またはLi-数字

電池のタイプと電圧を表示します。「t3」は単三形電池、「Li」はリチウムイオンバッテリーパックを示します。外部電源端子から電圧が供給されているときは「FULL」を示します。
表示は目安で、個体のばらつきもあります。電池が切れるときの数値を覚えておくと、より精度の高い減電池表示として使えます。

No.13　モニターホールド　oFF monHLd

モニターホールド機能をONに設定すると[モニター]キーを一度押すことでモニター状態になり「ザー」というノイズが鳴り続け、[モニター]キーを押し続ける必要がなくなります。もう一度[モニター]キーを押すとモニター状態が解除され「ザー」というノイズが止まります。
電波が弱い時に便利に使える機能です。

No.14　PTTオフ　on Ptt

本機を受信専用として使用する場合に送信を禁止する機能です。[PTT] キーを押しても送信しません。
注）VOXでの送信については、OFF設定は無効で、送信します。

No.15　外部音量変更　EvoL-L

外部出力端子へスピーカなどを接続して使用する際、音量が小さい場合には H 設定にして全体的にボリュームを上げることができます。受信専用でスピーカを使い、大きな音を鳴らしたい時は H 設定にします。

No.16　コールバック　oFF CALLb

2者同時通話モードの同時通話で自分が話した声をイヤホンから鳴らし話しやすくする機能です。周りの騒音が大きいときに自分の声が聞こえることによって話しやすくなります。

注）4者同時通話モードの同時通話で自分が話した声がイヤホンから鳴る動作については、コールバック機能ではなく親局と通話をするときに原理上発生するものです。従い、自声を消すことはできません。

No.17　VOX　oFF vo

[PTT] キーを押さなくてもマイクに音声入力があると自動的に送信する機能です。
VOX機能はVOX 感度をOFF、Lo、Hi から選択します。

Lo：VOX 感度 小（大きめの声でないと送信しません。周りがうるさく、黙っていても送信してしまうようなときの値です）
Hi ：VOX 感度 大（小さめの声でも送信します。周りが比較的静かなときはこちらをお試しください）
注）VOX機能はイヤホンマイクかヘッドセットのみ有効です。本体マイクやスピーカーマイクでは動作しません。この機能も、本機の性質から、使う必要が無いものです。オフでお使いください。

No.18　マイクゲイン　4 m-GAin

通話時の癖やアクセサリーマイクのゲインなどの都合で、人によってトランシーバーに入る声量は異なります。このため、音が小さい（話す声が小さい＝レベルを大きくする）、音が歪む（声が大きい＝レベルを小さくする）等の場合に調整できるようになっています。他社製のマイクをお使いになる時もレベル調整が必要になる場合があります。設定を間違うと声が小さくなったり歪んだりしますのでご注意ください。

No.19　VOX ディレイ時間 10 vod-t

VOX で送信したとき、音声が途切れても初期値では 1 秒間、送信状態を保持するため、息継ぎしても途切れません。この時間を 0.1 秒～3.0 秒に変更できます。送受信の切り替えをテキパキと行いたいときに、設定を短めにすると使い勝手が向上しますが、息継ぎなどですぐ送信が落ちることもあり、実験して確かめてからお使いください。
これもＶＯＸの設定ですから、必要はありません。

No.20　イヤホン断線検知　on EAr-C

本機は起動時に自動的にイヤホン断線検知をおこないます。インピーダンスが高いなど、外部出力端子へ接続する機器によってはまれに断線検知が誤動作することもあり、OFF が選べるようになっています。

No.21　秘話周波数　34 Scr-Fq

秘話のキャリア周波数を設定します。初期値と異なるキャリア周波数を使うときは、通話したいグループ全員の設定を同じ値に揃えて変更してください。

No.22　秘話エンファシス　oFF EmPHA

弊社製 DJ-M1 を合わせてご使用いただく際に秘話通話の相性があり、音声が聞き取りづらい場合があります。聞き取りづらいと感じたときに、この設定を切り替えることによって改善される場合がありますのでお試しください。

No.23　別売アクセサリーの PTT 対応　ALL inSptt

4 極プラグのオプションイヤホンを使うときに、本機 PTT と本機マイクの有効／無効を選べます。使用するアクセサリーに合わせて設定してください。

oFF　：本機 PTT 無効・本機マイク無効（オプションの PTT とマイクのみ有効）
out　：本機 PTT 有効・本機マイク無効（マイクは外部マイクのみ有効、PTT は両方が有効）
ALL　：本機 PTT 有効・本機マイク有効（イヤホンだけを使うときの設定）

イヤホンマイクに向かって通話するのがメインの本機では初期設定（ＡＬＬ）を変える必要はありません。ＡＬＬならマイクが断線した非常事態でも、Ｍ１０本体のマイクに向かって話せば通話ができます。

No.24　M1 ボリューム切り替え　oFF m1-voL

ＤＪ－Ｍ１とＭ１０を混用するときに便利な機能です。

本機と弊社製 DJ-M1 を合わせてご使用いただく際、双方に送信と受信の音量に違いがあり、それぞれ音の聞こえ方が違ってきます。M1 ボリューム切り替え機能を ON に設定することで、送信と受信の音量が DJ-M1 と同等になり、聞こえ方の違いを緩和することができます。

No.25　同時通話フリー個別番号　oFF FrEECH

ご注意）同時通話フリー個別番号機能は、送信ボタンを押すと始めに空いている個別番号を自動で探してから送信します。そのため、送信を始めてから相手に音声が聞こえるまで最短で約2秒、最長で約5秒かかります。従い通話が一時的に途切れるので、危険な作業などをしている最中にユーザーの切り替えは行わないでください。

4者同時通話モードで同時通話をする際、空いている個別番号に自動的に割り当ててから送信する機能です。一度この項目の設定をして、チャンネルグループを合わせておけば、以降は個別番号割り当て操作を省略して使うことができる便利な機能です。

同時通話フリー個別番号をONに設定すると、ディスプレイの個別番号「01」～「04」の表示が「SCn」の点滅表示になります。

ＰＴＴキーを押して送信すると、設定されたチャンネルグループ内の個別番号「01」～「04」の空き状態を自動でスキャンします。空いた個別番号を見つけるとその番号に自動で切り替わり、その番号がディスプレイに表示されます。このとき、同一チャンネルグループ内の4者がすべて通話中の場合、空き状態が見つからず送信できないことをアラームでお知らせします。ＰＴＴボタンを解除するか、アラーム鳴動中に通話できる状態になったらアラームは止まります。ＰＴＴボタンを解除すると再度「SCn」の点滅表示なります。

注）チャンネルグループ（A～J）は親局（DJ-M1R/M2R）と同じチャンネルグループに合わせてください。拡張８台連結を使うときは、２つのグループに分けてください。

注）子機間の距離が近すぎる場合、強い電波が干渉しあって正常にスキャンができないことがあります。このときは全員が１０ｍを目安にお互いが離れてから送信してください。
また信号が弱いなど通話状態が悪い場合、通話中の番号を空きと誤って認識して同一チャンネルに同じ個別番号を割り当てることがあります。このときは混信で声が歪んだり、信号が強いほうが弱い信号を消して聞こえたりするなど、正常に動作しなくなります。
この時は、どちらかが一度ＰＴＴキーを解除して、通話中の全員が通話できる状態の時に改めてＰＴＴキーを押してください。一度個別番号が割り当てられたら、ＰＴＴキーを解除するまで番号が変更されることはありません。

２）拡張セットモード2

※押す回数、はセットモードに入って「SqL 3」表示からダイヤルを押し下げる回数です。

No.	メニュー	初期表示	選択項目	初期値	※押す回数
26	ループ	oFF AFLooP	on/oFF	oFF	25
27	キーロック時間	Loc 2	1～3	2	26
28	音色変更	1 mELody	1～3	1	27
29	LCD 消灯	on Lcd	on/oFF	on	28
30	減電池アラーム（アラーム間隔）	oFF bAtt-C	oFF/5～60（秒）	oFF	29
31	グループトーク判別精度	2 mG-ton	1～5	2	30
32	AGC 切り替え	SL AGC	oFF/SL/FS	SL	31
33	AGC　ターゲットレベル調整	06 AGC-tG	03～24（× -1dB)	6	32
34	レストア	oFF rESto	oFF/SAv/Lod/dEL	oFF	33
35	減電池スリープ	on bt-SLP	on/oFF	on	34

No.26　ループ　oFF AFooP

2者同時通話モードの同時通話で第三者が会話を聞くことができる機能です。ループ機能は最初に呼び出しをおこなうトランシーバーに設定するだけで動作しますが、だれが最初に呼び出すか決まっていないことの方が多いので、全員のトランシーバーに設定しておくほうが便利です。全員に設定しても問題はありません。

No.27　キーロック時間　Loc 2

キーロックするときのキーを押し続ける時間を設定します。時間を長くすればキーロック設定の誤操作が少なくなります。

No.28　音色変更　1 mELody

ベル機能の音色が変えられます。モニターボタンを押すと音色が確認できます。

No.29　LCD 消灯　on Lcd

送受信中にディスプレイ表示を消灯する機能です。液晶が発するノイズが原因で送受信音に雑音が入ることがあり、ON にするとノイズ対策に有効な場合があります。

No.30　減電池アラーム（アラーム間隔）oFF bAtt-C

電池の電圧が低下するとディスプレイ右上の電池マークが点滅し、減電池をアラームでお知らせします。このとき設定時間ごとに１回、電池が減っていることを「ププッ」音で知らせることができます。電池が減っている状態で音を鳴らしてお知らせするため、間隔を短く設定するほど早く電池が切れてしまいます。

No.31　グループトーク判別精度　2 mG-ton

グループトークでのトーンの判定精度を調整することができます。受信しても音声が出ない、受信音声が途切れるなど障害がある時に有効です。１が最も厳しく、５が甘くなります。甘くし過ぎると受信音声が途切れにくくなりますが、テールノイズキャンセル機能が働かなくなるため、スケルチが切れるときの「ザー」ノイズが聞こえます。初期値の２は、かなり正確なトーン判定をします。

メモ）Ｍーシステムでは、混信を防ぐために自動でグループトーク機能が動作します。弊社での実験では

M1とM10を混用しても、グループトークの精度による通信障害は確認できませんでした。但し、長年お使いいただいて無線機内部の調整値がずれるなどの理由から精度が悪くなることは考えられます。変更されるときは、グループ内のすべてのＭ１０を甘い方向に設定してください。

No.32　マイクAGC切り替え　SL AGC

マイクに大きな声が入った場合、通話音声が歪むことがあります。この歪みを緩和するのがAGC（自動ゲイン調整）で、大きな声を検知したときにゆっくり緩和させる低速「SL」と瞬時に緩和させる高速「FS」の2種類から選べます。他機種と混用する場合、相性問題を解決できることがありますが、下手に設定を変えると逆に音が悪くなることもあります。複数の機種が混在するときは全ての機種で音質確認してください。

No.33　AGCターゲットレベル調整　06 AGC-tG

マイクAGC設定を入れたときに、歪みを緩和させる音量のポイントを調整することができます。
設定する数値を小さくすることで、より大きい声のときの歪みを緩和させます。逆に数値を大きくすると小さい声の歪みを緩和することができますが、相手に自分の声が小さく聞こえます。これも受信側の機種との相性も含めて、下手にいじると逆に送信音を悪くすることがあるため、必ず実験してからお使いください。
No.32と33は、多様な機種が混在する状況で効果を感じることがありますが、Ｍ１とＭ１０しか子機が存在しないＭーシステムでは下手に変更すると音が悪くなるだけなので、変更する必要はありません。音量の違いはNo.24　Ｍ－１ボリューム切り替えが有効です。

No.34 レストア　oFF rESto

チャンネル情報、セットモード情報をリセットしても消えないように記憶させ、復元させる機能です。
リセット後の面倒な設定やり直しをせずに済みます。

＊本体を記憶させたい状態に設定します。ダイヤルを回してSau/Lod/dEtを選びます。
SAv:[グループ]キーを2秒押し続けるとチャンネル情報、セットモード情報が保存され「rSt writE」を表示します。新しい設定を記憶するときは、この操作を繰り返せば上書きできます。
Lod: [グループ]キーを2秒押し続けると保存した情報を復元します。復元が終わると「rSt rEAd」が表示され、自動的に再起動します。何も保存されていない場合、「rSt nodAtA」が表示され読み出しがキャンセルされます。
dEt: [グループ]キーを2秒押し続けると記憶させた情報を消去します。終わると「rSt ErASE」が表示されます。完全に工場出荷状態まで戻す時は、消去してからオールリセットしてください。

No.35 減電池スリープ　on bt-SLP

スイッチを切り忘れるなどで過放電させると、バッテリーパックや乾電池の劣化や充電不良の原因になります。これを防ぐため電池の電圧が一定レベルまで低下すると自動的に電源を切ります。それでも待機電流は発生しているため、バッテリーパックは取りだして保管してください。OFFにすると電池を最後まで使い切ることができますが、大きな差はありません。通常はonでお使いください。

［拡張セットモードへの切り替え］

１）拡張セットモード１

１：キーロックを掛けます。（２つあるうちの、どちらの方法でも同じです。）

２：10 秒以内に[モード]→[モード]→[モード]→[モード]→[モード] を入力します。
キー操作が有効であれば「ピピッ」とビープが鳴り、自動的にキーロックが解除されます。

３：セットモードに入ると拡張セットモード１のメニューが追加されています。

２）拡張セットモード２

１：キーロックを掛けます。（２つあるうちの、どちらの方法でも同じです。）

２：10 秒以内に[モード]→[ファンクション]→[モード]→[ファンクション]→[モード]を入力します。
キー操作が有効であれば「ピピッ」とビープが鳴り、自動的にキーロックが解除されます。

３：セットモードに入ると拡張セットモード１と拡張セットモード２のメニューが追加されています。

＊ 変更した値を保存して拡張セットモードメニューを隠すには、上記１～３の操作を繰り返します。

＊ チャンネルや通常のセットモードで設定したパラメータも含め、全てを工場出荷状態まで初期化するには、完全リセットを行ってください。通常リセットでは拡張セットモード部分は初期化されません。

【完全リセット】

電源を切った後 [ファンクション][モード] [モニター]の 3 つのキーを押した状態で電源を入れます。
全てのセットモードの内容がリセットされ、工場出荷状態に戻ります。

レストア機能を使ったときは、セットモード No.34 の rESto メニューで dEt 操作をしてデータを消去しないと完全な出荷状態にはなりません。

以上
アルインコ（株）電子事業部